

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

三重県地方独立行政法人三重県立総合医療センター 総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	透I未訓方	救 臨 感 へ 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	29,978	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

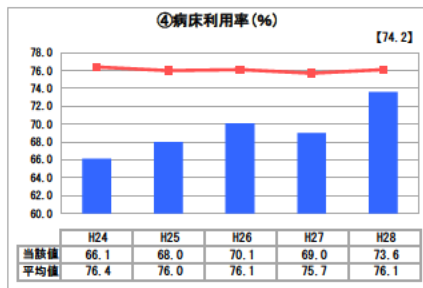
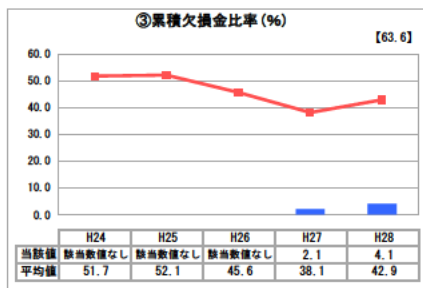
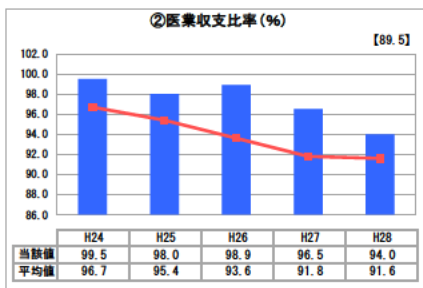
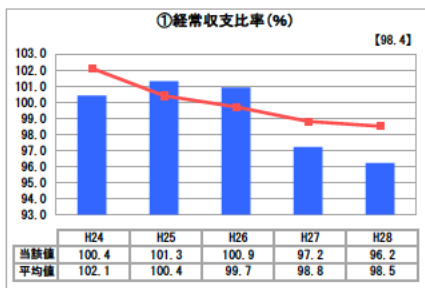
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
439	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	443
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
369	-	369

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [ ] 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性

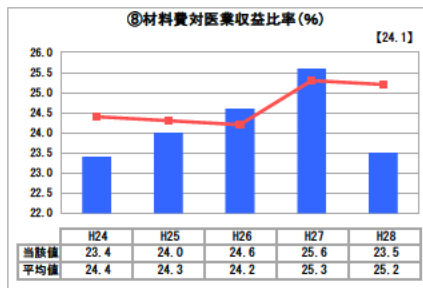
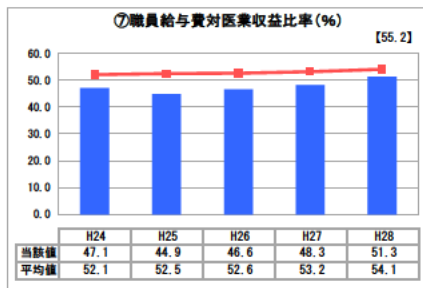
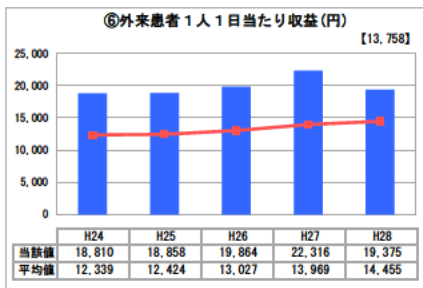
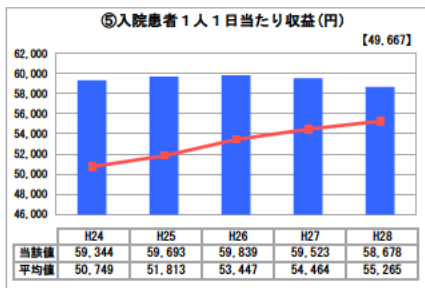


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



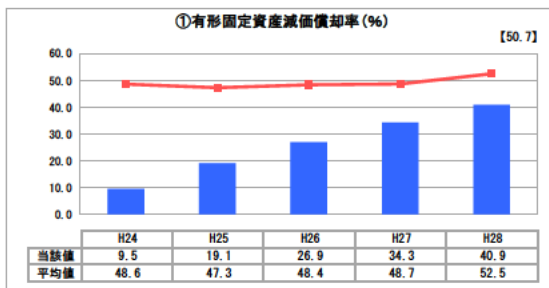
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

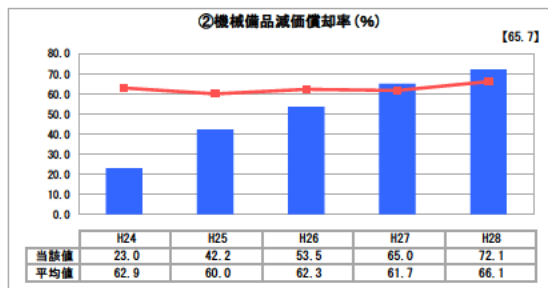
「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

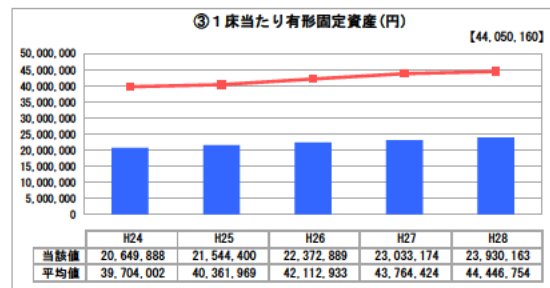
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

○東北勢保健医療圏の中核病院として、救命救急、高度、小児・周産期、感染、災害等の不採算・特殊部門に関わる医療を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献するとともに、地域医療支援病院として、地域医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に貢献している。また、臨床研修指定病院として研修医の積極的な受け入れにより、医療人材の育成に貢献している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率は職員給与費の増加等により100%を下回り、また類似病院の平均値も下回っており、収益の確保と給与費等の抑制に努める必要がある。  
 ○病床利用率は過去最高となったが、類似病院の平均値を下回っており、今後も病床管理の適正化を進める必要がある。  
 ○1人1日当たりの入院収益、外来収益は前年度決算額を下回ったものの、類似病院平均値と比較して依然高い水準となっている。  
 ○職員給与費対医業収益比率は類似病院の平均値を下回っているが、年々上昇しており、時間外勤務の適正管理等給与費の抑制に努める必要がある。  
 ○材料費対医業収益比率は前年度から大きく減少している。引き続き診療材料等の適正管理を徹底し、費用の削減に努めていく。  
 2. 老朽化の状況について  
 ○有形固定資産減価償却率は類似病院の平均値を下回っているものの、機械備品減価償却率は類似病院の平均値を上回っており、更新時期を迎えた機器が多くなっているため財務状況を考慮に入れながら計画的・効率的な更新を行っていく必要がある。  
 ○1床当たり有形固定資産は類似病院の平均値を下回っており、引き続き、過大な投資とならないよう留意していく。

### 全体総括

○上記動向をもとに、総合的に判断すると、東北勢保健医療圏における中核病院としての役割を担いながら、今後より収益性を高め、医療現場のニーズに対応し、老朽化した医療機器等の更新等を行い、より安定した診療体制を確保するとともに、材料費や経費の削減を進め、経営の健全化・効率化を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。